



## 人事の選任及び選挙

件名	概要	議決結果
選挙管理委員会委員	中村尋子氏、中村肇氏、田中重美氏、廣松碧氏が指名推薦により当選する。	当選 (全員賛成)
選挙管理委員会補充員	松永基資氏、田中明人氏、田中繁氏、西田正弘氏が指名推薦により当選する。	当選 (全員賛成)



## その他

件名	概要	議決結果
基幹水利施設管理事業「筑後川下流左岸地区」の事務の委託	委託市町(久留米市、筑後市、大川市及び三潞郡大木町)が国営筑後川下流土地改良事業造成施設に係る基幹水利施設管理事業に関する事務の一部を柳川市に委託する。	可決 (全員賛成)
町道路線の認定	宅地開発、大型店舗建設及び花宗川整備に伴う道路について認定する。	可決 (全員賛成)
議員報酬及び議員定数に関する調査研究特別委員会設置に関する決議	厳しい財政状況の中、行政改革を推進する。	可決 (全員賛成)
大木町もったいない宣言	10年後平成28年度までにごみの焼却や埋立てなどのごみ処理を0にすることを目指して宣言案を提案。 平成18年11月から生ごみの分別が始まり、町民の皆さんとの協働による大幅なごみの減量資源化に成功しました。この経験を活かし、町民の皆さんとの協働をさらに広げ、ごみを出さないまちづくりを目指します。また、地球温暖化などの環境問題が深刻化し、子どもたちの時代に重大な影響を与えるのではないかと心配をしています。この宣言は、子どもたちの世代に恥ずかしくないまちづくりを進めるための決意です。	可決 (全員賛成)



# 大木町もったいない宣言 (ゼロ・ウェイスト宣言)



### 子どもたちの未来が危ない。

地球温暖化による気候変動は、100年後の人類の存在を脅かすほど深刻さを増しています。その原因が人間の活動や大量に資源を消費する社会にあることは明らかです。

私たちは、無駄の多い暮らし方を見直し、これ以上子どもたちに「つけ」を残さない町を創ることを決意し、「大木町もったいない宣言」をここに公表します。

1. 先人の暮らしの知恵に学び「もったいない」の心を育て、無駄のない町の暮らしを創造します。
2. もともとは貴重な資源である「ごみ」の再資源化を進め、2016年(平成28年)度までに、「ごみ」の焼却・埋立て処分をしない町を目指します。
3. 大木町は、地球上の小さな小さな町ではありますが、地球の一員としての志を持ち、同じ志を持つ世界中の人々と手をつなぎ、持続可能なまちづくりを進めます。

以上宣言します。